



燕市立燕東小学校 学校だより

令和6年8月28日

No. 5

↓学校ホームページ

あすなる



「あのね…」を受け止めて

校長 鈴木 華奈子

「夏休みどうでしたか？」

「いとこと花火した。」「おじいちゃん、おばあちゃんちに行ってきた。」「宿題ぎりぎり終わらせた。」子どもたちがニコニコ顔を話聞かせてくれます。普段できないことに挑戦したり、好きなことに浸ったり、地域のお祭りや催しに参加したりと、たくさんの体験をしてきた子どもたち。久しぶりに会い、ひとまわり大きくたくましくなったように感じました。

子どもたちの笑顔を見て、さて、私は、小学校の頃どうだったろうかと、思い返してみました。夏休みが終わろうとしている時期、正直「ああ、学校がもう始まる・・・。」と重い気持ちだったことを覚えています。その頃は、テレビゲームも、ビデオも、インターネットもない時代。娯楽は、テレビと漫画本。漫画本はお小遣いでは簡単に買えないので貸本屋さんか友達から借りて読んでいました。そんな環境での夏休み。退屈なんじゃないかと今の子どもたちは思うかも知れません。

早朝のラジオ体操から1日が始まります。朝9時までの宿題タイムの後は、町内プール、器楽部の練習、時にはお寺の本堂で涼んだり、田んぼで生き物探しをしたりと、のんびり思うように過ごしていました。なので、お盆明けの頃からは、1人1研究や、絵、読書感想文などの大物の宿題が残り、その消化に追われることも多くありました。「ああ、学校がもう始まる・・・。」と重い気持ちになっていたのは、このためもあったのかもしれませんが。でも、早い頃にすっかり宿題を終えた年も、変わらず重い気持ちでした。今になって思うと、何が原因かも分からない何ともいえない不安でいっぱいだったように思います。

夏休みの終わりなど、周囲の環境の変化へ適応するには、子どもも、大人も、区別なく、時間とエネルギーが必要です。環境変化に伴う、自分の中の何ともいえない不安と、どう向き合っていくのかは、人それぞれなのだろうと思います。幼い頃は、親の布団に潜り込んだり、抱っこしてもらったりと甘えることで“大丈夫”と安心できました。高学年の頃になると、甘えるのもできず、不安からモヤモヤ・イライラが募っていきました。今思えば、誰かに「あのね・・・」とそのときのつらさを話し受け止めてもらえるだけで、気持ちが楽になったかもしれないなあと思います。

新学期、“日常”の環境変化に慣れるまでには、少し時間とエネルギーが必要になると思います。一人ひとりの子どもたちの「あのね・・・」のつぶやきに耳を傾け、気持ちを受け止めながら、子どもたちの安心の笑顔とやる気の瞳が、一層輝き、広がるよう努めて参ります。



1 学期学校評価～重点課題の成果と課題～

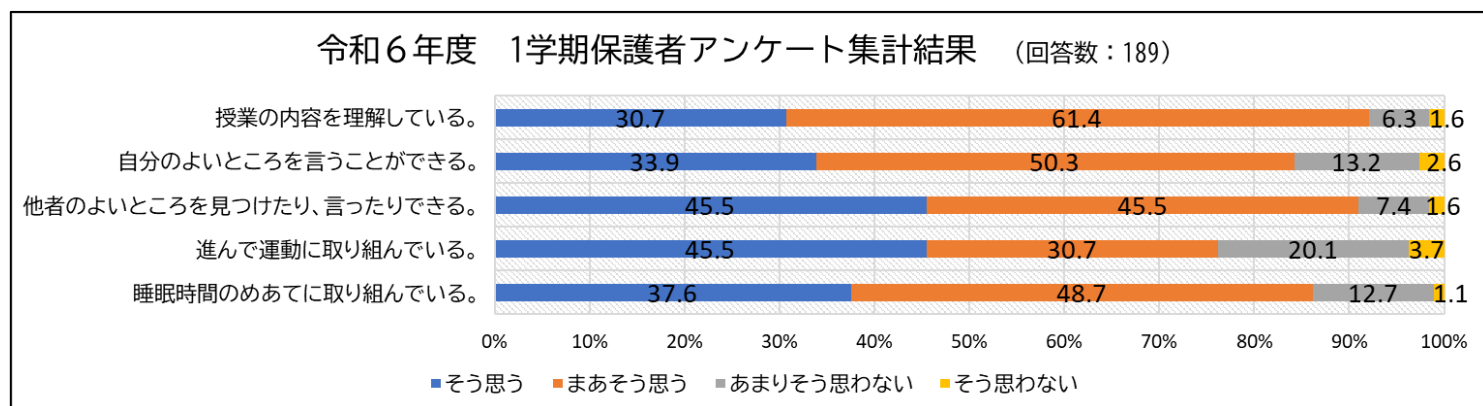
「学力の向上」「豊かな心の育成」「体力の向上」の3つの重点課題について、1学期の取組をふりかえり、成果と課題をまとめました。課題の克服に向け、2学期も取組を進めていきます。

重点課題	成果	課題
学力の向上	<p>表現する力の育成</p> <p>学習の「振り返り」については、キーワードを板書したり着目する視点を示したりしたことで、書き方が上達しました。</p> <p>「話すこと」については、ペアや小グループで考えを発言する場を意図的に設定したことで、一人一人が話す機会が増えました。</p>	<p>「振り返り」については、書く時間の確保が課題でした。各単元で記述するところを精査したり、宿題や自主学習で自分の考えをまとめる機会を設けたりしていきます。</p> <p>「話すこと」については、授業での教師の問い返しや学年の実態に合った掲示物で、話す内容の深化や話し方の向上を図っていきます。</p>
	<p>基礎基本の定着</p> <p>習熟のために、プレテストや宿題などの内容を工夫したり、個別支援したりして取り組んできました。児童同士で教え合うことで、教える児童もアウトプットでき、双方の理解へとつながりました。</p> <p>また、家庭学習の習慣が身に付いている児童が多く、基本的な内容が定着しています。</p>	<p>知識や計算などの定着はよいのですが、初めて読む話や複雑な問題になると正しく読み取れなくなる傾向が見られます。様々な文章問題や考え方を説明する問題に取り組むことで、学習内容が十分に定着できるよう支援していきます。</p>
豊かな心の育成	<p>自己肯定感</p> <p>すべての学級で、いじめを無くす学年一取組を行いました。また、帰りの会・授業など様々な場面で、互いのよさやがんばっていたところを見付け合い、伝え合う活動を設定してきました。相手のがんばりやよさだけでなく、自分のよさに気付くことにもつながりました。</p>	<p>一人一人にがんばっているところやよさはあるのですが、それを自分で気付かない児童がいます。当たり前のことのできている姿もよさであると伝えたり、友達から言われた良いところを自分で振り返る場を設定したりしながら、自分のよさやがんばりを実感できるようにしていきます。</p>
	<p>他者理解</p> <p>学級の友達だけでなく、行事や清掃などの縦割り班（あすなろ班）での活動を継続してきました。ペア学年のよいところを見付けて発表したり、「ありがとう」を伝え合ったりできるようになってきました。</p>	<p>友達やペア学年のよいところを言葉で伝えるだけでなく、カードに書くなどして形として残していきます。学級の友達やペア学年など異学年交流で見つけた相手のよさやがんばり、「ありがとう」の気持ちをカードに書く活動を計画的に実践していきます。</p>
体力の向上	<p>運動意欲の向上</p> <p>体育の授業では、ペアやグループでよりよい動きを目指して話し合い、動きを改善できました。また、ICT 機器を用いたことで、自身の動きを客観的に捉えたり、動きのポイントをくり返し確認したりできました。運動意欲が高まっている様子が見られました。</p>	<p>休み時間や放課後等に、体を動かして遊ぶ児童は限られていました。よりよい動きにするための工夫を考えたり、話し合ったりする場の設定を継続することで、運動の楽しさに気付き、進んで運動に取り組めるようにしていきます。</p>
	<p>生活習慣指導</p> <p>全学級で早めに事前指導を行いました。カードを家に持ち帰り、家庭で話し合って目標の起床・就寝時刻や、お家のルールを決めることができるようになってきました。実践するよさを感じた子どもは、継続していきたいと意欲が高まったようです。</p>	<p>実現可能で適切な起床・就寝時刻、お家のルールが設定できるように、学校と家庭との連携を大切にしながら取り組んでいきます。少しでも生活習慣が改善できるように、「げんきアップ週間」が子どもを褒めるよい機会になるようにしていきます。</p>

保護者アンケートありがとうございました

1学期末の保護者アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。たくさんの貴重なご意見をいただきました。今後の教育活動に生かしていきます。

【1学期保護者アンケート集計結果】



全体的に肯定的評価を多くいただきました。一方で、「授業理解」や「自己理解・他者理解」に関しては、個別指導や聞き取りなど、子どもたちに対して丁寧に寄り添うことの重要性を再確認しました。家庭に帰ってから「運動意欲」については、やや課題が見られました。引き続き、左面のような課題解決に向けた取組を行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

【自由記述から】

自由記述では、学校の取組に対する意見・要望をいただきました。紙面の関係で、すべての意見・要望に対して回答できませんが、全体に関わる事柄について、以下のとおり回答いたします。

- ・ プール授業は今後も年2回のみなのでしょうか。水に触れる機会をもう少し作ってほしいです。
- ・ プール授業の回数を増やし、時期も夏場にしてほしいです。燕東小だけ10月なのは何か理由があるのでしょうか。
- ・ 水泳の授業は5年生まででいいと思います。

⇒水泳の学習は学習指導要領に定められているため、全学年で実施しています。現在、燕東小と同様に自校のプールの老朽化などのために市の公共プールで水泳の学習を行う学校が増えています。日程調整や送迎のためのバスの確保等の関係から、現在の形になっています。授業の実施時期については毎年6月ごろを希望していますが、上記の調整の結果、10月になってしまっています。引き続き、夏休み前の実施を希望していきます。

- ・ 赤門祭など新型ウイルスが流行する前のように戻してほしいと思います。
- ・ 学年単位の遠足を復活させてほしいと思います。全校で弥彦山や国上山などへの登山などもいいのでは。

⇒令和5年度中に、文部科学省から「標準時数を大幅に超える授業の実施」は見直すよう通知が出ています。これを受け、赤門祭を含め様々な教育活動についてその有効性を精査した結果、現行の形で赤門祭を実施することとしています。ご理解ください。他校では縦割り班での活動の充実を目的に全校登山などを行っているところもありますが、燕東小では、運動会・赤門祭・音楽会・あすなろフェスティバル等で異学年交流を充実させたいと考えています。校外での学習については、総合的な学習の時間を中心に積極的に取り組んでいきます。

- ・ いろいろ思うことはありますが、匿名じゃないから書きにくいと感じます。

⇒学校としては、いただいたご意見に真摯に対応していきたいので、記名をお願いしています。ご理解ください。

・ 連絡帳の代わりにメールで先生とやり取りできるとよいと思います。

⇒欠席・遅刻・早退の連絡はマチコミメールの機能をご利用ください。その場合は、朝8時までのご登録をお願いします。それ以外の問合せ等は、丁寧に対応させていただきたいので、直接電話などでご連絡いただくか、連絡帳でのお知らせをお願いいたします。

・ 東町の4～6年生でも帰りのバスに乗せてもらえるとありがたいです。

⇒東町の1～3年生が下校の際に利用している市の循環バスは、あくまで市民のために運行されているものです。下校バスとして使わせてもらうために「定員を超える場合、下学年を優先し、それ以外の学年は歩いて帰る」というルールで運用しています。乗りたい人が確実に乗れるようにするために現行のようになっていることをご理解ください。

・ 運動会の種目で、あすなろ班種目の取り組みは、縦の学年交流を深めるのにとてもよいと思います。ただ、見ている保護者側からすると、自分の子がどこにいるか分からないこともあるので、少し内容を改善できればよいと思いました。

⇒あすなろ班種目を行うのは、今年度で2年目になります。種目の内容については改善の余地がありますので、来年度に向けて検討していきます。

・ 学習参観ですが、授業中に保護者の私語が気になるときがあります。

⇒学習参観日は、保護者の皆様に来ていただくことで、子どもたちもそわそわする様子が見られます。子どもたちが授業に集中できるよう、保護者の皆様も環境づくりにご協力ください。

・ 周りでスマホを持つ子が増え、交友関係にも変化が出てきていると感じています。良い面もあると思いますが、トラブルにもつながりそうで心配です。

⇒文部科学省は「子どもに携帯電話を持たせる以上、保護者として責任をもって、その使用方法や使用時間等の取り扱いの管理、使用に伴う危険やトラブル等への対処を行うことが必要」としています。スマートフォンやタブレット機器などをお子さんに持たせる場合は、必ず各家庭で使用上の約束をしたうえで持たせてください。学校では、インターネットを使用する上でのトラブル防止に向けた指導をしていきます。

・ 自分の生まれ育った土地の事を勉強するのはとても有意義だし、今後日本中、これからは世界中の人と接していくことになった時、自分の生まれ育った土地の事をしっかり知らないで恥ずかしいと思うので、もし可能でしたら今の地域教育は続けてほしいです。

⇒燕東小学校の地域と関わる学習を価値付けていただき、ありがとうございます。今年度から発足した学校運営協議会でも、委員から「地域に出かけて学んでほしい」という強い思いが語られました。各学年で生活科・総合学習を中心として地域に出かける活動の充実を継続していきます。保護者・地域の皆様からも引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

この他にも、「友達も増え、学校を毎日楽しみにしています」「丁寧に対応していただきありがとうございます。子どもも安心して学校に通うことができます」「ホームページで学校での子ども達の様子を知ることができありがたいです」など、たくさんの励ましのお言葉もいただきました。本当にありがとうございます。

様々な条件がある中で、学校にもできること・できないことがあります。子どもたちのよりよい成長のために、職員と保護者の皆様が忌憚なく話し合える関係性が重要であると考えます。気がなりましたら、遠慮なく学校へお聞かせください。これからも、ともに子どもたちの成長を見守っていきましょう。

